

■ 社会保険労務士 田代事務所

東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビル26F
霞が関アライアンスセンター内
TEL 03-5251-7181 FAX 020-4666-8269
Home Page <http://www.tashiro-sr.com>
Blog <http://blog.tashiro-sr.com>

対談 所長 社会保険労務士 田代 英治

ゲスト 秋野 太作(俳優)



企業と社員が共にハッピーになる 人事のアドバイザーを目指す

秋野 社会保険労務士については漠然としか分からないのですが。

田代 年金や雇用保険など文字通り社会保険に関する実務の相談に乗るのが仕事ですが、私はその中でも人事政策に重きを置いています。

秋野 社会保険労務士になろうと思われたきっかけは何ですか。

田代 大学卒業後、海運業の川崎汽船に就職し営業の仕事をしていたのですが、人事異動で人事部に配属になったのがきっかけです。それまで営業をやっていた人間にはとても難しい仕事で、同じ難しい仕事をするのなら資格の取得にも挑戦しようと思い、8年ほど前に取得しました。

秋野 取得後はすぐ独立されたのですか。

田代 いえ、今年6月まで在籍していましたので、8年間は助走期間だったと思っています。現在も元の会社から仕事の依頼を頂くことがあり、とても有り難いですね。

秋野 独立されると営業的な活動も必要になるでしょう。

田代 ええ、詳しい名刺代わりに、ホームページやブログを活用しています。ただし新しい情報を盛り込むために毎日更新しなくてはなりません。

秋野 大変な作業ですね。ところで、先程人事関係に重きを置いているということでしたが。

田代 単に保険の書類作成代行だけでなく、企業の要である「人」の問題を中心に、コンサルティングやサポートを手掛けていこう

と考えています。それならサラリーマンとしての20年間の経験も生かせるかと。

秋野 最近の経営環境や社会環境からすると、人事政策も難しい時期では。

田代 確かに難しいです。終身雇用・年功序列では駄目になっていますが、欧米並みに割り切ることもできませんからね。そして若い人にとって「愛社精神」や「帰属意識」は理解しづらく、コミュニケーションを取るのが難しいのですよ。ただ私は「人」は「人財」だと考えていますので、人事面のサポーター・アドバイザーとして、企業と従業員が共にハッピーになれる方策を提案していきたいです。

秋野 今後についてはどのように。

田代 現在は私と秘書だけですが、来年にはコンサルタント会社として法人化させようと思っています。

秋野 企業も様々な問題を抱えていますから、歓迎されるでしょう。頑張ってください。